

中学2年 地域国語(SSH科目)学習指導案



指導者 ○○ ○○

1. 日 時 令和8年7月2日(木) 第5限(13:30~14:20)

2. 学年・場所 第2学年(29名) 中2教室

3. 単 元 名 意見文を書き、討議する ―鳥取県の若者流出を考える―

4. 指導目標と評価計画

(1) 単元の目標

- A) 資料から、鳥取県の若者流出の現状と背景を正しく読み取ることができる。
- B) 割り振られた賛成・反対の立場に立って、主張と根拠を明確にした意見文を書くことができる。
- C) グループ討議を通じて、自分と他者の意見を交換し、根拠にもとづいて考えを深めることができる。
- D) 本時の取り組みを振り返り、本音の立場の変化と地域への関わりについて考えることができる。

(2) 本時の目標 本時案(第4次 4/5)

- ① 他者の意見文を正しく読み取り、主張と根拠の関係を把握してワークシートに記入することができる。

【知識・技能】

- ② グループ共有と討議を通じて、多様な根拠に触れながら自身の立場を明確にして発言できる。また、自分の考えと他者の意見を比較し、根拠の妥当性を指摘・検討できる。

【思考・判断・表現】

- ③ 本時の取り組みを振り返り、本音の立場の変化や新たな問いを記録することができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

(3) 評価規準

観 点	規 準
知識・技能	意見文の構成を理解し、根拠の種類を区別できる。また、他者の意見文を正しく読み取り、主張と根拠の対応関係をワークシートに記入することができる。
思考・判断・表現	自分の立場の根拠を明確にししながら他者に伝え、討議に参加することができる。また、他者の意見文を批判的に読み、根拠の妥当性を指摘したり、自分の立場と比較したりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	他者の意見を聞いて自分の考えを見直そうとし、討議を通じて新たな問いを見つけようとしている。また、本時の取り組みを振り返り、地域への関わりや自分の行動について考えようとしている。

5. 展開

準備物: 意見文(前時完成)・根拠チェックシート(グループ共有メモ欄つき)・振り返りシート

(1) 本時の展開

時間	○学習活動	・指導上の留意点	■評価規準・方法(観点)
導入 (5分)	○前時の意見文執筆を振り返り、本時の流れを確認する。 【めあて】意見文を読み合い、根拠を確かめながら討議しよう ○賛否の分布を確認し、本音の立場も口頭で確認する。	・「本音と違う立場で書いた取り組みに意味がある」と伝える。 ・本時の学習内容と目標を理解させる。	
展開 (35分)	【活動1 精読】(5分) ○意見文を精読し、根拠チェックシートに記入する。 ○相手の立場と主張を一文でまとめる。 ○根拠の種類を確認し、評価する。 ○討議で聞きたいことを1つ書く。	・記入が止まっている生徒には「根拠に線を引いてみよう」と促す。	■相手の主張と根拠を正確に読み取ることができ る。 【知識・技能】 ■他者の意見を聞いて自分の考えを見直そうとして いる。 【主体的に学習に取り組む態度】
	【活動2 共有】(5分) ○精読した意見文の内容を共有する。 ○主張・根拠・評価を 30 秒ずつ紹介し、印象に残った根拠を共有メモに記入する。	・司会役を決め、時間を意識して進めさせる。 ・早く終わったグループには「根拠の強さはどちらが上か」を話し合わせる。	
	【活動3 討議】(15分) ○賛成・反対が混在する 5～6 人グループで討議を行う。 【討議テーマ】「留める政策と戻りやすい政策、どちらを優先すべきか」	・根拠のない意見には「何かデータや経験はある？」と問いかける。 ・「意見が変わってもよい」「変わった理由を大切にすること」を伝える。	
	【活動4 共有】(10分) ○各グループの討議内容を全体で共有する。 ○「討議を経て変わった点・深まった点」を1人1文で発表する。	・発表が偏る場合は「違う立場の人は？」と問いかけて広げる。	
振り返り (10分)	○振り返りシートに記入し、本時を締めくくる。①意見文の強み・課題②新たな問い③本音の立場の変化と理由を記入し、数名が発表する。	・「新しい問いが生まれたか」を意識させる。	■自分の考えをまとめ、学習内容と比較・検討できている。 【思考・判断・表現】

